

## 五所川原市



### もうないおうどころのひ 毛内翁土功之碑

市指定文化財（有形）

指定年月日 平成 12 年 11 月 2 日

広田組手代を務めた毛内治兵衛（毛内家 5 代目）は、文化 3 年（1806）から文政 5 年（1822）までの 17 年間に 6,070 本のタモ、胡桃、柳、菴柴木、杉等を植えて防風林を造成した。これを毛内林と呼ぶ。現在、錦町の久須志神社敷地内にあり、五所川原市最古の顕彰碑となっている。

### ヌマスギ

市指定名木・古木第 1 号

指定年月日 昭和 51 年 10 月 1 日

北米の沼地や湖畔等に自生する落葉樹。日本に植樹されたもので、これだけの大木はあまり見られない。

五所川原市栄町（菊ヶ丘運動公園内）



### なるみかんべえのひ 鳴海勘兵衛之碑

岩木川、新十川、旧十川に挟まれた五所川原新田の開発において、派立頭として直接現地で指導に当たったと言われている。市制施行 25 周年記念事業として、昭和 55 年 8 月 2 日五所川原市庁舎前のお祭り広場において、本碑の除幕式が行われた。現在、新町の柳沼公園内（青森地方裁判所五所川原支部北側）にある。

